

病院会計への繰出金約17億円について再検討を

質問 一般会計から病院会計への繰出金は年間約14・5億円。さらに新市立病院の建設計画による年間約2・4億円（30年返却）を考慮すると年間約17億円が必要となる。30年後返済しても、新市立病院は老朽化し、新築が必要になる。かなりの費用が長い間必要になるが。

市長 必要な経費であるが、市民に丁寧な説明し理解を求めていく。現在新市立病院についての計画は策定中であり、広く市民の考えを伺う。

質問 医師確保に関わる奨学金を返済した場合でも医師が来てもらえるのか。

市長 奨学金は返済した場合も奥州市にくる義務はない。

質問 胆沢病院が担っている臨床研修医制度を活用し医師確保のための協力関係を深めるべきでは。

病院事業管理者 現在でも協力関係はある。積極的に連携を取りたい。

質問 協力関係によって胆沢病院から医師が市立病院に来ることがあるのか。

病院事業管理者 これまでは1人もいない。

新たな改革プランを



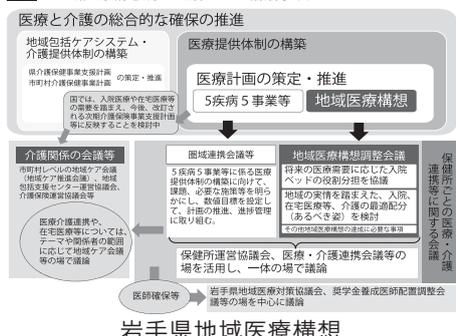
いわの たく 及川 佐 議員(奥和会)

質問 奥州市立病院・診療所改革プランでは「急性期医療を主体とした現状の機能・規模を維持することを基本として」とある。このプランは県の地域医療構想とは異なっている。新たな改革プランを作るべきでは。

市長 新市立病院の基本構想・基本計画を現

在策定中でありその中で不足分を明らかにする。

抜粋 地域医療構想調整会議の主な協議事項について



岩手県地域医療構想

教材費・図書購入費の配分額は充分か

質問 教材費・図書購入費の交付税措置率が低い理由と第5次図書館整備費の活用は。

教育委員長 教材費、図書購入費は重要な予算と認識している。教材は教材整備指針に照らした整備状況を把握するため調査を進めている。第5次図書館整備5か年計画では図書の更新を最重要とし、学校規模に応じた配分をしている。図書館への新聞配置は、来年度より小学校1紙、中学校2紙を配置する。学校司書の配置は学校規模により日数は異なるが全校に配置している。教材費、図書購入費とも交付税措置率は低い傾向なので重点としていく。

質問 観光施設等民間移譲に取組んでいるが、周辺施設も活用した整備が必要である。胆沢ダムを核とする観光開発の検討は。

ダム周辺の観光開発は

市長 胆沢ダムや奥州湖の周辺は、豊かな自然と景観に恵まれ、ダム下流域はカヌー競技場として高い評価を受けている。ダム周辺は、観光地として高い潜在能力を秘めているので、体験型メニューとして小学生向けの川遊びやトレッキング、高校生向けのラフティ



胆沢ダム堤体から見た、ひめかゆ温泉、奥州湖交流館、馬留広場のそみ大橋、カヌーコース

ングなどを試験的に実施する。つづ沼周辺では、簡易カーサイト等を整備する。観光開発は行政だけでは実現できないので、民間の団体や企業と進めていく。



たかばし まさいち 高橋 政一 議員(市民クラブ)